

# 百合便り

## 校長だより7月号

やまゆり観賞会 無事終了



やまゆりが見事に咲きました。やまゆり観賞会も102名の来場者を迎え、無事に終了しました。今年は茶道部、料理部に加え、美術部作製の百合のしおり配布、書道の学習成果展も並行し、神奈川新聞にも掲載されました。やまゆりの数も年々増え、地域の方々に根付いたものになっていると感じます。参加された長沢自治会長、末吉様から、「このあたりで群生していたやまゆりを復活・復興させる取組みは素晴らしい。」とのお話もいただきました。本当に、環境委員さん始め、PTA役員・ボランティアで参加いただいた方々に感謝申し上げます。今後とも百合高の「百合」を盛り上げていきましょう。

今回展示した書道の作品は、「百合を生徒の心に残しましょう」と話したのを受け、取組んでもらったものです。「百合をみて一句」という授業で、その一句を書いた理由を生徒が作品を手で説明している授業も見学しました。思いおもいに百合のイメージを語り、それを17文字にまとめる表現力には素直さと感性が輝いています。また、例年の取組みで、美術では風音祭テーマ（今年度は「百花繚乱咲かせよ、百合の花」）にちなみ、2年生が風音祭ポスターを制作しました。百合の俳句と絵を百合高という母校で書き綴る時間そのものを生徒の尊い思い出にできるよう、百合高らしさをさらに追究なくてはと心あらたに感じました。書道の作品は昇降口に掲示されていますので、機会があればご覧ください。

さて、21日の集会では、「何ができるようになったのか」「どう学んだのか」を対話で振り返らせ、効果的な記憶法についての脳科学とケツメイシの「心の声」を紹介し、「休業中は頭を使って心は休めましょう」と話しました。ぜひ、ご家庭でも話題にさせていただき、対話を持っていただければと思います。